

国民年金保険料の

免除制度を活用しましょう

国民年金は、20歳以上60歳未満の全ての人加入し、世代を超えて支え合う制度です。

平成27年4月分から平成28年3月分までの国民年金保険料(以下「保険料」といいます)は、月額1万5590円です。

経済的な事情や災害などにより、保険料を納めることが困難な人のために、申請により保険料の納付が「免除」または「猶予」される制度があります。

保険料の免除や猶予を受けず、保険料が未納の場合、障がい基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合があります。

免除制度などを上手に活用し 保険料を納めましょう

●**保険料の免除制度**
本人、本人の配偶者、世帯主のいずれもの前年の所得が一定基準以下の場合、申請により全額免除、4

分の3免除、半額(2分の1)免除、4分の1免除が適用されます。

また、免除の所得基準を超えていても、退職(失業)などにより納付が困難な人は、特例で免除を受けられる場合があります。

●若年者納付猶予制度

同居している世帯主の所得にかかわらず、本人、本人の配偶者の所得が一定基準以下の20歳以上30歳未満の人は、申請により保険料の納付が猶予されます。

●学生納付特例制度

本人の所得が一定基準以下の学生は、申請により保険料の納付が猶予されます。

●申請の受付期間

保険料の免除制度および若年者納付猶予制度の平成27年度分(平成27年7月分から平成28年6月分まで)の申請は、7月1日から受け付けています。

学生納付特例制度の平成27年度分(平成27年4月分から平成28年

3月分まで)の申請は、4月1日から受け付けています。

※平成26年4月から、過去分の保険料の免除制度、若年者納付猶予制度、学生納付特例制度の申請は、申請時点から2年1カ月前までの期間をさかのぼって行えるようになりました。

免除や猶予を受けたら 追納制度を利用しましょう

保険料の免除や納付猶予を受けている場合、将来、受け取る年金額は全額納付したときに比べ減額になります。ただし、追納(さかのぼって納付)することで、年金額を

「年金情報流出」を口実にした “振り込み詐欺”や“個人情報の詐取” にご注意ください!!

日本年金機構や年金事務所から皆さんに電話することはありません。もし自宅や職場などに日本年金機構の職員などを名乗る電話がかかってきたら、同機構相談窓口(☎0120-818211)または、警察相談専用電話(☎#9110)まで迷わずお電話ください。



増やすことができます。免除や猶予の承認を受けた期間の保険料は、10年以内ならば追納することができます。※過去3年度より前の保険料を追納する場合は、当時の保険料に一定の加算額が生じます。

【問い合わせ・申請】
●本庁国保医療課
(☎24・2111 内線263)
●各総合支所健康福祉係
(大迫☎48・2111 内線143、石鳥谷☎45・2111 内線228、東和☎42・2111 内線221)
●花巻年金事務所
(☎23・3351)

早池峰山 山開き

安全祈る権現舞奉納



早池峰山山頂で権現舞の奉納を見守る登山者たち

北上高地の最高峰、早池峰山で6月14日、山開きが行われました。小田越登山口で行われた入山式で、夏山シーズンの到来を祝った後、この日を待ちわびた大勢の登山客が頂上を目指して出発。連続する岩場に苦労しながらも、かれんに咲く高山植物や眼下に広がる雄大な景色を満喫していました。山頂では、今季の安全を祈る神事が行われたほか、早池峰岳神楽保存会が権現舞を奉納。周囲を埋め尽くすほどの登山者が疲れを癒しながらその舞に見入っていました。

色とりどりの業種が並ぶ

Marble Market vol.15開催

異業種を一堂に集めたイベント「Marble Market」が6月21日、なほんプラザ前で開催されました。市内をはじめ県内各地から、和洋菓子や軽食のほか、手工芸品、マッサージ、占いなど、約70店舗が出店。高校生によるバンド演奏や、アクセサリなどのオリジナル作品作りも楽しめ、会場は活気にあふれていました。同イベントを企画・運営する高橋久美子さんは「ライフスタイルの提案や、心地よい空間の提供を続けたい」と話していました。



オリジナルアクセサリ作りを楽しむ子どもたち

防災への心構え新たに

花巻市消防演習



①防火を誓う八重畑保育園の幼年消防クラブの園児②消防フェスティバルで消防士の装備を体験する子どもたち③一斉放水訓練の様子

6月7日、北上川の朝日橋下流右岸河川敷などを会場に、消防演習が行われました。消防団員など2000人を超す参加者が、分列行進や小・中隊訓練、ポンプ操法など日頃の訓練の成果を披露。赤十字奉仕団による炊き出し訓練や幼年消防クラブの演技披露なども行われ、防災に対する心構えを新たにしました。会場隣では消防フェスティバルが併催。訪れた家族連れなどが体験コーナーを楽しみながら、市民の生命と安全を守る消防活動の大切さに触れました。